

2022
冬号



—
小さな
建具屋

—
笹木タテグ

建具屋の しごと便



建具職人がつくる『木製建具』のある暮らし
今年の制作事例をご紹介します。

もくたて
木建のある暮らし。



病院の窓からの景色。
伝わっていますか？
この悲壮感。



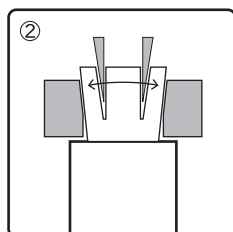
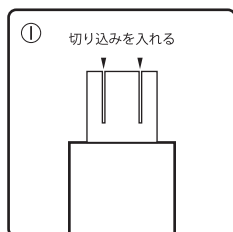
こんにちは。笹木タテグの笹木です。
今年も色々ありました。皆様の
お陰でこうしてお仕事を
させていただく事ができました。
本当に本当に感謝です。
ありがとうございます。

今年最大のイベントは、
老朽化した股関節の大手術と、
人生初の一カ月の入院生活。

正直やつれましたが（笑）、
機械化した関節は絶好調。
子供の頃に夢になっていた
合体ロボになった気分です。

でも、たとえ冷たい金属を
身体に入れていても、
心までは冷たくならない、
笹木タテグの「しごと便」。
最後までお付き合い下さい。

とある神社の開き戸に「クサビ止め通しほぞ」を採用しました。
ひと手間かかりますが、至って単純な仕組みで結合部分を強化
できる、非常によく考え抜かれた技法です。



「クサビ止め通しほぞ」とは、
貫通させたほぞに割リクサビを
差し込んで接着させる仕口です。
ほぞが扇状に開くことにより、
抜けにくい強固な接合をさせる
事ができます。見た目は画像の
ような切り口になります。
ぜひお近くで探してみてください。



目立たないところに、先人の知恵。



自然と人をつくる建具。

笹木タテグの木製建具はすべて手作り。
木の特性を理解し、美しく活かす。
端材も古材もなるべく無駄にしません。



古民家の改装に合わせた、懐かしくもモダンな印象の建具。木製建具は家と同じように修理しながら長く使用できます。



立派な玄関には、風格漂う木製建具がよく似合います。腰板はケヤキ、その他の部材は国産の桧を使用しました。



現代風のシンプルな内装に、桧の美しい木目がよく映えます。敷居のない吊り戸方式なので足元もすっきりですね。



レトロな印象の格子組の建具。モダンに改装された古民家によく馴染みます。腰板もすべて国産の杉で組みました。



和室には定番の雪見障子。障子紙は適度に太陽光を室内へ取り込み、部屋全体をやわらかな印象にしてくれますね。



最近では珍しい木製の雨戸。古い材料を生かし、杉板だけを張り替えしました。昔ながらのベニガラの家馴染みますね。



チェッカーガラスの型硝子と太めの格子で組み上げたクラシックな印象の建具。アンティーク家具との相性も◎です。



新築されたお寺さんの建具を一式製作させていただきました。新しい本堂は清々しく、とても気持ちのよい現場でした。



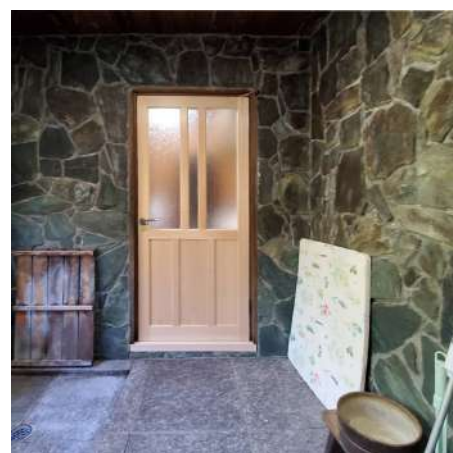
ヒバで組んだのクローゼット扉です。メーカーの既製品と違って半永久的にメンテナンスが可能。長く使用できます。



新築された地蔵堂の開き扉を製作させていただきました。総ヒノキで組み上げられたお堂。佇まいも清々しいですね。



先代から受け継がれた襖絵を切り抜き新しい襖に再使用しました。高月町の絵描きさんによる作品だそうです。



珍しい木製の浴室扉です。こちらの浴室は床・壁共に石張り。重厚な内装に合わせて尾州の桧を使用しました。

建具屋のリサイクル

築150年の古民家改修工事に合わせて、玄関雨戸も新調させていただきました。施主様のご意向で既存の"木製の戸車"と"鍵"を再利用させていただきました。木製建具の良いところは、こうして修理や交換をしなければずっと使い続けられること。日本古来の「勿体ない」から着想した、こうしたエコな取り組みは世界に誇れる文化のひとつです。



ちいさな建具屋

笹木タテグ

〒526-0815 滋賀県長浜市八条町625
0749-65-0017 (FAX 共通)



2022年も大変お世話になりました、2023年もどうぞ宜しくお願い申し上げます!!